

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	6	5	4	1	4	3	5
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	5	10	7	28	25	23 (27)	18
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0	1	0	2	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	4	3	6	4	5	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	2	4	2	2	2	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1*
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	2	1
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	5

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\*その他は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第8週(2月17日~2月23日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8	1		6				1	
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3	
四類	1	デング熱	1					1			
五類	13	アメーバ赤痢	1			1					
		侵袭性肺炎球菌感染症	3					3			
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1							1	
		梅毒	4					4			
		百日咳	4	1				3			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市  
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり18.65人の報告があり、増加しています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2 RSウイルス感染症

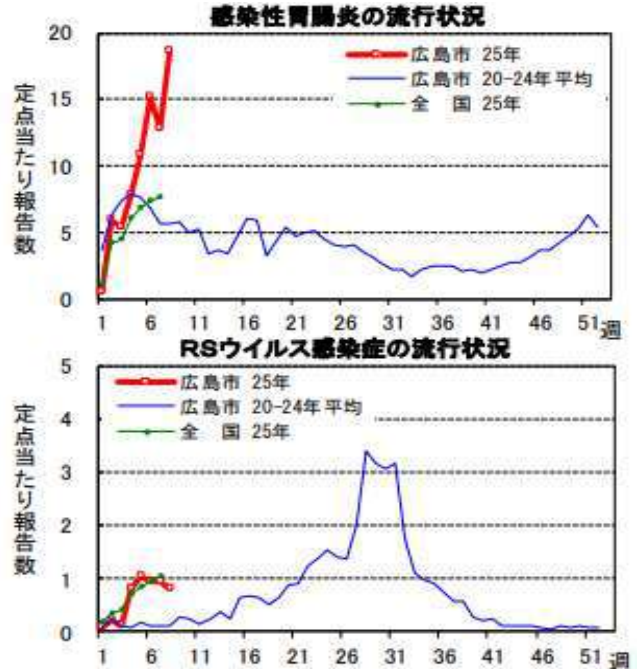
定点当たり0.83人の報告があり、例年同時期より多い状況が続いています。生後数か月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.70人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.33人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	49	1.36	7.65	◇	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.06	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	84	2.33		◇		流行性耳下腺炎	2	0.09	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	19	0.83	0.13	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.48			流行性角結膜炎	4	0.50	0.35	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.70	1.27	◇		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-
	感染性胃腸炎	429	18.65	5.64	◇	無菌性髄膜炎		-	-	-	
	水痘	4	0.17	0.18		マイコプラズマ肺炎		3	0.50	0.17	
	手足口病	1	0.04	0.18		クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.03		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	
		突発性発しん	-	-	0.24						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	デング熱	1	2	40歳代・市外・推定感染地域:国外
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	8	40歳代、60歳代、80歳代
5	梅毒	4	20	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人
5	百日咳	3	21	10歳代・2人、40歳代・1人